

学位被授与者氏名	潘 晨希 (はん しんき)
論文題目	北京の日系コンビニエンス・ストアのマーケティング戦略に関する一考察 － セブン-イレブン (北京) の事例からの分析 －
論文審査結果の要旨	<p>本稿は、日本でのコンビニエンス・ストアの代表企業であるセブン・イレブンが、中国の北京に進出した際、日本で培われたノウハウをどのように現地適応して競争優位を構築したのかを明らかにしたものである。</p> <p>例えば、中国では出来立てのもの、温かいものを食べる習慣があるため、日本のような弁当会社から運ばれた冷たい弁当ではなく、店内で簡単な調理をした温かい中華弁当を出して、北京のセブンイレブンは人気を博しているという点などは興味深い。</p> <p>本稿も文献の引用による事例研究が柱となっており、実態調査や定量分析が伴っておらず、掘り下げが十分とは言い難い。</p> <p>とはいえ、全体的に論旨は明快であり、論文の体裁も一応整っていると考えられるので、合格としたい。</p> <p>平成 27 年 2 月 12 日に、北九州市立大学北方キャンパスにおいて、審査員全員出席のもとで最終試験を実施して学力を確認し、論文の説明を受け、質疑応答ののちに、全員の判断で当該論文が修士(経済学)として十分な内容であると判定した。</p>